

製品名: リン酸化 PML タンパク質 (Ser518) ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe84914

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 98 kDa; Observed MW: 98,117 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-PML Protein (Ser518)
別名	PML; MYL; RNF71; TRIM19; Protein PML; Promyelocytic leukemia protein; RING finger protein 71; Tripartite motif-containing protein 19
遺伝子 ID	5371.0
SwissProt ID	P29590
免疫原	ヒト PML タンパク質の Ser518 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

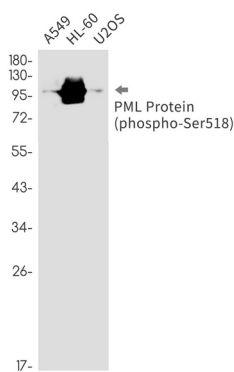
背景

RB1 のリン酸化と活性を調節する。胚発生期における脳皮質の正常な発達に必要である。ヘルペスウイルスおよび水痘ウイルスのタンパク質を PML ボディ内に隔離し、感染性ウイルス粒子の形成を阻害する。ITPR3 のリン酸化を調節し、小胞体におけるカルシウム恒常性の調節に関与する（類似性による）。ELF4 の転写活性を調節する。

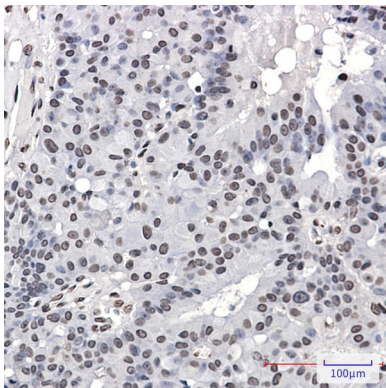
研究分野

アポトーシス、mTOR シグナル伝達経路

画像データ



リン酸化 PML タンパク質 (Ser518) 抗体を使用した、A549、HL-60、U2OS ライセート中のリン酸化 PML タンパク質 (Ser518) のウェスタンブロット分析。



PML タンパク質 (リン酸化 Ser518) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。